

中沢かづゆき
通 信

中沢かづゆき 通 信

自民党鎌倉市会議員

<http://www.nakazawa.jimusho.jp>



自由民主党



自由民主党

市政に関するご要望、皆さまの声をお聞かせください！

議長就任

6月15日開会の、平成28年鎌倉市議会6月定例会の冒頭で、第62代鎌倉市議会議長に就任しました。当選2回での議長就任に、気が引き締まる思いです。副議長と連携しながら、新たな視点を持った議会運営をしていきたいと思ひます。

昨年の9月議会で明らかにしました、白紙請求書使用問題、期限切れワクチン接種問題、生活保護費盗難事件など、鎌倉市役所の信頼は市民の皆さんから失われています。しかし、市役所の不適切な事務を議会が明らかにしているということは、議会の権能が発揮されている証左でもあります。失われた信頼を取り戻すことは、大変困難なことです。しかし、どんなにつらくて困難でも取り戻さなくてはならないことです。議会として、信頼を取り戻せるよう協力していきたいと思ひます。子供たちが次代の鎌倉を担う時、ど

こにも負けない行政であってほしいと思ひます。その役割を持っているのは、今の私たちです。議長として、「principle」を大切にしていきます。

今回の役員選考で同じ会派から、議選監査も選出いただきました。2期目での議長就任は、戦後初。同じ会派から三役2人選出も初めてです。また、議選監査は、2期で3度目の就任。多くの期待をいただいている三役。変えるべきことは変え、残すべきことは残していきます。

就任以来、県議会を始め、県内すべての市町村議会に就任挨拶に伺いました。これも、初。鎌倉という知名度に胡座をかくことなく、地方創生の時代、積極的に県内市町村議会の皆さんと交流を深めていきたいと思ひます。

慣例により、任期は一年。全力で職務に努めてまいります。よろしくお願ひいたします。

6月定例会

6月定例会は、1年以上も通行止めとなっている北鎌倉隧道が大きな事案となりました。すでに開削工事の補正予算を可決していることに関して、文化庁から見直しを求めるよう話があった、として議会に報告がありました。2元代表制の地方議会において、予算提出権は首長にしかありません。提出された予算議案を委員会に付託して審議・採決し、本会議で採決を行います。昨年は、旧図書館の解体工事補正予算を可決後、一転保存すると表明しましたが、これも議会をあまりにも軽視しています。解体補正予算提出を行い、議会として審議・可決しましたが、正当性のある説明のないまま保存。職員組合の不法占拠などもあり、未だ本来の子どもの家建設工事が行われていません。

北鎌倉隧道は、補正予算可決後に補正予算執行中止。しかも、開削工事入札・契約後に中止するという公共工事ではありえない事態になっています。何度か市長が議長室に来て相談。文化庁との協議は時間がかかり、開削か保存かの最終判断はまだできないことを確認。1年以上も通行止めになっている事態をまず解消することを求めました。結果、北鎌倉隧道の安全対策工事を行い、人は通れるようになります。また、工事発注に関しては、可能な限り早く発注できる方法をお願いしました。当初来年の1月中の通行止め解除としていましたが、年内には何とか通行できることとなります。

議会の議決が、あまりにも軽視されている事態に、今後はきちんと対応するよう求めました。

議長公務

6月議会で議長に就任し、最初の公務は、姉妹都市・上田市の合併10周年式典出席でした。信州の鎌倉として有名な上田市とは、昭和54年11月に姉妹都市提携を行いました。議員の交流は、4年間の間に一度両市議員交流を行っています。大河ドラマ・真田丸で活気あふれる上田市を拝見し、また市長、議長とお話をさせていただいて、鎌倉でも大いに参考にさせていただきたいと思います。

議会閉会后、県議会と県内全市町村議会に議長就任のあいさつに伺いました。これは、初めてのことです。かながわ自民党市町村議員協議会で一緒に活動している議員さんが県内にいます。様々な情報交換をし、交流も盛んです。その経験から、議長に就任した当初から県内すべての市長村議会にあいさつに伺うと決めていました。日ごろ直接交流の無い議会の議長からは、「ぜひ鎌倉とも連携したい」とのお話もいただきました。県議会議長からは、「なんでも相談してください」と声をかけていた

いただきました。県内市町村議会との交流をもっと行っていきたいと思います。

長年交流をいただいている、高市早苗総務大臣にも就任のあいさつに。「本当におめでとう。うれしい」とお話をいただきました。

リオ五輪に、鎌倉から女子バレーボールの島村春世選手、女子7人制ラグビーの谷口令子選手、リオパラリンピックに、女子卓球の伊藤楨紀選手が出場します。壮行会に出席させていただき、「議会としても、応援しています。ぜひ自己ベストを尽くし、楽しんでください」とお話をしました。

鎌倉市に行政視察にお越しいただく全国の議会に、歓迎のあいさつをさせていただいています。これも、今まであまりしてきませんでした。議長不在の時は副議長にお願いして、鎌倉にお越しいただいた議員さんをお迎えすることとしました。これも、交流です。議会改革は、終わることはないと思います。今できることを少しずつ行っていきます。

中沢かつゆきの経歴

経歴：昭和41年6月生

群馬県立渋川高等学校卒業
東京電機大学理工学部情報科学科卒
温泉コンサルタント
大阪観光大学観光学研究所客員研究員
鎌倉中央ロータリークラブ副会長
材木座保育園保護者会会長
にかいどう子どもの家父母会会長
湘南獣医師会 顧問
鎌倉野球協会副会長
著書「安全な温泉・あぶない温泉」
(草思社刊)
第62代鎌倉市議会議長
鎌倉市議2期
二階堂在住
事務局：Tel 0467-61-0305
Fax 0467-24-5658

杉原千畝さんを顕彰する決議

第二次世界大戦中、ナチスに追われたユダヤ難民の方々に、政府の方針に反し日本通過ビザを発給し続けた「人道の人」として有名な、杉原千畝さん。昨年映画にもなり、TVでも特集を組まれています。2000年には、日本政府から正式に名誉回復がなされています。あまり知られていませんが、杉原千畝さんは最晩年を鎌倉で過ごされ、鎌倉で眠っておられます。今年は、杉原千畝さんが亡くなられてから、30年。鎌倉市議会として、その功績を改めて顕彰する決議を、全会一致で可決しました。7月13日には、ご子息である杉原伸生さんに、議場で決議文をお渡ししました。「大変光栄です。父も喜んでおります」とお話をいただきました。

個人を顕彰する議会決議は、鎌倉市議会です。決議をきっかけに、杉原千畝さんの思いを鎌倉で伝えていきたいと思ひます。

ほっと、一息：日頃の疲れを、温泉で癒してみませんか？

* 中沢かつゆきは温泉コンサルタントでもあります *



箱根温泉：豊臣秀吉の小田原攻めで全国に知られることとなった、箱根温泉。伊達政宗が底倉温泉に幽閉されたことでも有名です。江戸初期には、箱根七湯として東海道沿いに栄えました。将軍への献上湯も度々行われており、日本でも有数の温泉地となりました。明治期に入り、さらに箱根の開発が進み、箱根十七湯、箱根二十湯と呼ばれる温泉地ができました。温泉ブームで賑わってきた箱根ですが、昨年の火山性地震の増加で大涌谷が立ち入り規制となりました。大涌谷では蒸気に地下水を加えることで温泉となっていますが、設備点検ができなくなりました。また、広い箱根全体が風評被害となり、観光客が激減してしまいました。しかし、7月26日には、箱根ロープウェイが全線開通し、箱根に活気が戻ってきています。泉質は、それぞれの温泉地で違いがあり、その違いを楽しむのも箱根観光の一つ。芦ノ湖や関所跡など、見るところもたくさんあります。今年の夏休みには、ぜひ箱根温泉に。

<http://www.hakone.or.jp/>